(自 曜 月)

[關東軍司令部七日正午發表]

西が軍また經傳數名を出だせり、なほソ軍の不然占據を試みたる地點は彼が平案主張しある琿春界的附屬地圖によ否が軍また經傳數名を出だせり、なほソ軍の不然占據を討案し退却せり、赤兵一名苦が軍により精勝となる、たり、ソ兵は死體二、輕機關缺一、彈薬一箱及び電話機等を潰棄し退却せり、赤兵一名苦が軍により精勝となる、三千五百米の高地に越境し來たり工事を開始せるを以て關東軍の一部は七日午間一時これを夜襲し、ソ兵を緊逐し二日間東東軍一員、今部、七日正年一級表。」 八月五日朝ソ聯兵十數名は十八號界機(綏芬河、東寧中間) 南方的口間東東軍 司、今部、七日正年一級表。

の喰ひ選びを米解決のまよ残 ・ 関係は依然自説を固執し意見 ・ 関係は依然自説を固執し意見 ・ の喰の選びを米解決のまよ残 ・ の喰の選びを米解決のまよ残 ・ の喰の選びを米解決のまよ残

見たので直ちに重光大使に調 令を發し一兩日中に第二次會 離域場響發生のため為らく右 離域場響發生のため為らく右 會議は七日中にも行はれる良 のと見られ、ソ聯一流の得手 の公正なる主張の徹底に努め ると共に、ソ間機の不法爆撃 の公正なる主張の徹底に努め ると共に、ソ間機の不法爆撃

中北京、奉天に一泊、十日午 中北京、奉天に一泊、十日午 中北京、奉天に一泊、十日午 中北京、奉天に一泊、十日午

第一

日夜來今後の方針につき協議 日夜來今後の方針につき協議

表のソ兵を反

で 攻撃部隊は選水、玉山飛行場
な 射撃をうけたのみ、南支方面
を 射撃をうけたのみ、南支方面
を 射撃をうけたのみ、南支方面
を 射撃をうけたのみ、南支方面
を 射撃をうけたのみ、南支方面
を 射撃をうけたのみ、南支方面

に姿を現はしたのである、丁 に姿を現はしたのである、丁 んでるるのに氣何かの敵さ んでるるのに氣何かの敵さ が暴弾が鬱然炸災、二機は 等先よしとわが鬱酔に着陸したと したが、この数ケ月來打破く したが、この数ケ月來打破く

本 おが猛爆になそれた敵機は残ったのである に置かず、そこから教育米離 しこの中に隠してるたのだ、 しこの中に隠してるたのだ、 しかし流石爆撃行になれたわ が勇士等の限はこれしきの好 は爆弾の雨を降らせてこれを お辞してしまつたのである

が居り、ツ聯製策爆

特の命令系統をもつて行動し等は獨自の飛行隊を組織し獨

ツ聯人飛行

支那人飛行士は非常の指令を受けない状態

聯の無害援助の事質が暴露された、即ち外人側の強電筋の 得た情報によると漢目にはソ 得な情報によると漢目にはソ

豕、山西の遊撃隊を

呈軍各所で撃破

寡兵よく巧妙な戦果

らの都測を裏建す

らの劇測を実建するが如きソを確認してゐるが、最近これ側は外人方面においてもこれ側は外人方面においてもこれ

さ 縫つて長沙を攻めんとする日 りその他の武器がソ扇より赤い 大、特に南昌より山岳地帯を はます (白熱化されつよる 三十名に過ぎず、支那の空軍 襲撃を計畫してゐるといはれ つ た、特に南昌より山岳地帯を はます (白熱化されつよる といばれ ると共にソ聯の對海軍事援助 は た、特に南昌より山岳地帯を はます (白熱化されつよる 設備のて長沙を攻めんとする日 りその他の武器がソ扇より赤い に減少して現在では僅かに二 本軍に對しソ聯製戦率により 色のに減少して現在では僅かに二 本軍に對しソ聯製戦率により 色のに減少して現在では僅かに二 本軍に對しソ聯製戦率により 色のに減少して現在では僅かに二 本軍に對しソ聯制と

色ルートを翻て陸路輸入されてあるが、これらの代償は その半敷は長期サレデットを 設定、半敷は茶などの物資輸 山によつてバーター制を採用

いてソ聯側が意識的に張鼓峰、 漢口攻略を薬制する意味にお

上せしめたり

政治都市としての生

の生命を喪失した、)

要人等は全

衛陽間を往復しつゝ前線の指揮に當ることにならう、また衞陽から廣西省の桂添までは旣に軍用道路が完成し桂林から南寧を經て印度支那の陣地を布き湖南省の長沙、衡陽、浣陵の線を結ぶ三角地帯を軍事中心区域として日下蔣介石麾下の中央軍を集結中である、蔣介石は多分浣陵の混乱を防止すべく手管を整へてしまつた、支那側軍事常局の新たなる長期搖騰體形としては雨昌、護日間の山岳地帶を利用して第一線防備政治都市としての生命を喪失した、要人等は全部重慶に集まりその家族は早くから大部分を昆断に遜難せしめて漢日陷落による國民政府内部

まりその家族は早くから大部

計畫である、この新計畫によれば漢けそのものは僅かに一據點たるの意義をなすにすぎず、獲存海軍なども漢口には既に一隻の軍艦もないつて外國からの軍艦品の輸入ルートは右の二路を完成したわけで湖南省を軍需中心區域としこれを取総く西南、西北各省を物資補給地とすンテンへ通ずるフランス借燉鐵道も完成して運輸を開始し桂林から梧州を經で廣東へは自動車道路及び水路により連絡することとしてゐる



日七

A 八

ーオーホ 太湖南方の 敵死傷五千太湖南方の激戦

行はれた激歌において敵三十十七、十八、十九の三日間にわたり太湖南方山地において

はつて敵の豪った 合して四千を超さ に確な調査に確定的に撃 に悪はわ

障碍全間代表式

支新通貨政策

中旬迄に具體化せ

カフ

2

1

.

£

ンテカルロ

サンマー・

==1

ス

一配人歸店

回報告ページェント

も高き江戸梁め

就きつい同省中央化の意圖を 同識を試み四川省の重要性を 局談を試み四川省の重要性を 場談を試み四川省の重要性を 場談を記み四川省の重要性を 場談を記み四川省の重要性を

治安工作のため

(那空軍

孔祥煕記者團に

重慶の重要

性を强調

投げすてて、本當の銃後の女

スを、錦紗を

全店の女性が思ひ切ってド

性として立ちあがった、雄々

しい姿をぜひ御覧下さい

聯愈よ露骨

つた、西瓜の新鮮さに、あ

竹破りの一撃にパット飛び散 納凉は酒か女か、否!真向唐

本當の納凉氣分は満點でせう

そして、 定の金額 明期な

御遠慮して戴きます鳥めこ 氣分になり

んな制度を造りました國策に

、一定の酒量以上

コノコエー支配 支配人藤澤賞お熊禄を以て本日腾店致し地、北支方面に渓路観察の爲め旅行中の

カフェー従業員

野るい日曜日の人派は稚療に 早朝から櫓太彼が漂いて、

京し

4.

設

楚な女性群

繁華街

100

さんに地間めをして質明になる筈の頭道溝、

いつも明朗な新社交場!!

豐樂路 ダンスホール階下 七〇

るよ明白なる滅魔に属す 飛行士遺留品 なるので単計可済る

發表一七日午前十一時

の拙劣性、ソ勝軍需工業の思い不活潑訓練の未熟戦闘技術

この期に及んで

防路頭で

をして、 カフェーモンテカル

製は灰になつて窓に舞ひ上淡口に相つぐ空場、関射の

電話③ 五〇六三

方面及び各販賣人に消達萬遺は廢棄院分に附する旨各關係

瞬待ち馬車

屬服

の怪

福山家の不幸

利用する

監督當局の取締要望

られた、七

で軍艦の脚

十四日旅順刑務所を借所した 所、物・前料一能で本年五月

りな

官舎街荒し捕る

あ

元

B

財車は関都三千の 別し、瞬前ビュー 別し、瞬前ビュー

期して養戒師を鞏固

は

※五十四分となり、晝の時間
※の日の出時刻は年前五時飛
の日の出時刻は年前五時飛

對哈爾濱

この

0

運

命

11

?

動王 をつけ

0

志 士

2

級到する乗客に對 のる、然して列車 のる、然して列車

り現在では上水道用の井水を となるのみであるが、一旦 関在の有様では國都は忽ち水 の大飢膨狀態を現出せればな の大飢膨胀態を現出せればな の大飢膨胀態を現出せればな があり を捨て一朝有事の際に備へ

相撲聯盟を解消

に角道會組織

變記念日に盛大な發會式

・のは、四方より通いては場合をゆるがす数器に張り切った。 をゆるがす数器に張り切った。 をゆるがす数器に張り切った。 ない。 をゆるがす数器に張り切った。 をも男ましく土まみれとなっ。 をも男ましく土まみれとなっ。 をはな合つてゐる、わあつと。 をはな合ってゐる、わあつと。 をはなかりに飛び付く肉塊。 で双葉山、前田山と大御所連。 中くも易態にざはめく、かく。 で双葉山、前田山と大御所連。 殺到した日曜日 くも超満員 の好角連

大前島観高出大青陸海四太千朝松小陸十越 昭田ノノ 羽和薬 武海刀薬明ノ松奥三よ 曲らうとした李某運轉の一〇四四號豆タクが駅前行のバスを登集路を東進して來た芙蓉を登集上で來た芙蓉を登集時のサイドカーと衝突、双方共怪我は無かつたが豆タクの前面は完全にひたが豆タクの前面は完全にひたが豆タクの前面は完全にひたが豆タクの前面は完全にひたが豆タクの前面は完全に

昨今營口における特産物の担 定期航路開設

安回復に伴ひ對支貿易も漸次活況を呈するに至つたので大流況を呈するに至つたので大強元船會社は右事情に鑑み、然に本月一日より博進丸(二千噸)が規航してゐるが、同會社では解來輸出貨物の増加を應じ更終來輸出貨物の増加を應じ更に就航船の増配を行ふと共に必要があれば客船も就流せし

見て同氏の二百十國領入れの時金通帳寺園秀失氏の不在を三日同僚寺園秀失氏の不在を

も注意せればならないところ監督取締り當局の政省が促さ

西廣場校同窓會 大市に遠足

新京西廣場小學校同窓會は九 日開催されるが時局柄心身鍛 を主とし午輸入時集合入時 行ひ午後三時購資驛前にで解 前の際に午後三時購資驛前にで解 で別位される

時發列車で担任の途に就いた新任妻錦州省長は七日午前十

多數に見談られて願京したは七日午前十時發列車で宗門は七日午前十時發列車で宗門 藤尚開教監督

村海洋行

友人總代

金菅山入中岡

親戚越代

刑妻貞子儀豫而病氣療養中の處薬 石効なく本日午前七時四十分永服致候間生前等知諸彦へ諡告候也追前明八甲午後三時豊榮路四〇二自宅に及て神、大・以て華敬相管公司申録

朝有事の際は水飢饉の恐れ

早大排球軍 平満 (東京國通)早大排球軍 平満 (東京國通)早大排球軍 平満 (東京國通)早大排球部の招聘で新聞及びが満端 サーム 日、サース日・マルス日 (東京國通)早大排球部は来 (東京國通)早大排球部は来 (東京國通)甲大八日 (東京國通)甲大八日 (東京國通)早大排球部は来 (東京國通)甲大八日 (東京國通)甲大八日 (東京國通)甲大八日 (東京國通) (東京國西) (東京西) (東京國西) (東京國西) (東京國西) (東京國西) (東京國西) (東京國西) (東京國西) (東京西) (東京國西) (東京西) (東京西

(元紅ばら改メ)

新專賣總局長

時十分着列車で來京した大村滿飯副總裁は七日午後二 大村滿鐵副總裁

二十歲前後 家事一切を愛し得る方二十歲前後 家事一切を愛し得る方

晚餐③二九四二番

唸を生じて大評判 ◇鰻かば焼ご丼◇ 味覺で立つ= 食道樂 青 三笠町 青

新京觀光協會

後援

大師報社、新京日日新聞社大師京日報社、新京日報社、新京日報社

御特ち申上げます。 御時の時に御歌のと、 御り!!御買物の序に御散策の序に 一般のとと手一度 御来観の程、 一般の形に 一般の形に 一般の形に 一般の形 として 全滅北 支の 観光地スピード

まで

日

·展覽會

森洋行

食壽司 けったり 第三、ユセニハ番 一應 ないこ

男女店員募集
至急若干名入用(個品商地人)
五希望者は自華履振書持多本人來
談ありたし
新京ダイナ海 教師の五人七七番

その第一印象をかゝ

毎多数あり後等は添く解

普通馬車を捜さねばならな用断道路既は日本橋通りま 目に會ふ旅行者は毎列

れるものに對しては乗車を背 はかりに争率するのは被等が不當なる料金獲得を日齢む理 に変せしめてゐる斯くの如き で変せしめてゐる斯くの如き で変せしめてゐる斯くの如き で変せしめてゐる斯くの如き

力を舉げて捜査に常つてゐる折柄、最近人船門新京園に紹治の事實を突きとめ六日夜谷本、財前、傳、杉野四刑事は小日午前八時頃飄然と婆を現したが送に姿を現はさず又も取送したかと思はれたがしたので有無を害はさず引

に張込んで逮捕に勢めたが明、喜樂婷の朝鮮料理店方

の今晩主なる放送

本七・三〇 日曜特料ニニース 「第一夜」(東京) ★八・〇〇 郷十 「第一夜」(東京) ★大・市本 ・ 選挙子二、月山田抄太郎 外本八・五五 捕物帖滅夜四風 外本八・五五 捕物帖滅夜四風 が本八・五五 捕りいる。 ・ 第一次)、京都 ・ 、 第一次)、京都

解決の道へ 辿る

久松三津 作田柳

昂奮の連續!興味力點の大衆映書

前篇以上の興味と迫力!スリ

の大義を設く謎の怡大神の正

る女スパ

6

I

衆各社の國

→ 名月始御門(解決篇) △ 然竹京都、 大見信子、久然美津技の共游、好評の前篇に殺され、弱惠は權太と共に別上郷・ 古に救はれるが、双方行方をさがす中原は遂に最大の巷市に救はれるが、双方行方をさがす中原は遂に最大の巷をなる、悲劇活劇の中にと人は再回して荷時代に進んでゆく、長春座十日封切



発験来スター、監督の無側限に苦しみ獲PCL時代の俳優 に苦しみ獲PCL時代の俳優 に苦しみ獲PCL時代の俳優 に苦しみ獲PCL時代の俳優 で、他、主要なり、監督師にお いても同様に新書の對立が甚 がたしいので、池水和央新第一 にで、他、本和央新第一 にで、他、本和中、新第一 にで、他、本和中、新第一 にで、他、本和中、新第一 にで、他、本和中、新第一 にで、他、本和中、新第一

監督部 0

が出摘ふか が出摘ふか が出摘ふか が出がの三人際 記を設け秋の三人際 記を設けるの主人で 記を設けるの主人で 記を表するでは、「日本人のでは、「日本人のでは、「日本人のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、」という。 佐谷賞「わが家に 母あれ」着手 を情に残る子原作の「わが家近「母と子」を設表せる鑑谷 質は悠々その鏡鉢を現はしつ 、森山季子原作の「わが家に 母あれ」の製作を開始することになつた、原作は大船的第2年である。 とになった、原作は大船脚本部 とになった、原作は大船脚本部 では、東西の東山季子が津田 がは、東西の東山季子が津田 がは、東西の東山季子が津田 が、東西の東山季子が津田 では、東西の東山季子が津田 では、東西の東山季子が津田 では、東西の東山季子が津田 では、東西の東山季子が津田 では、東西の東山季子が津田 では、東西の東山季子が津田 では、東西の東山季子が津田 では、東西の東山季子が津田 では、東西の東山季子が津田 では、東西の東山季子が津田

支那古美術品展

(今井)

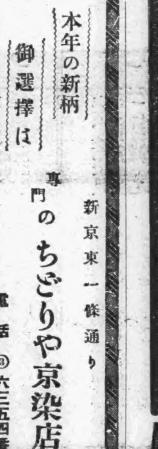
本社 奉天浪速道三一電 (2—2824)



限晚个々愈皆

3: 感 張 0

入船町一ノ廿二ノ二電③六二六七名義變更セズ 電話ノ御用へ 電話ノ御用へ 電話上御用へ 電話上御用へ 本年の新柄 選擇





新星及星表替の御用は

電話③五一七八番

藤尾 畳店へ

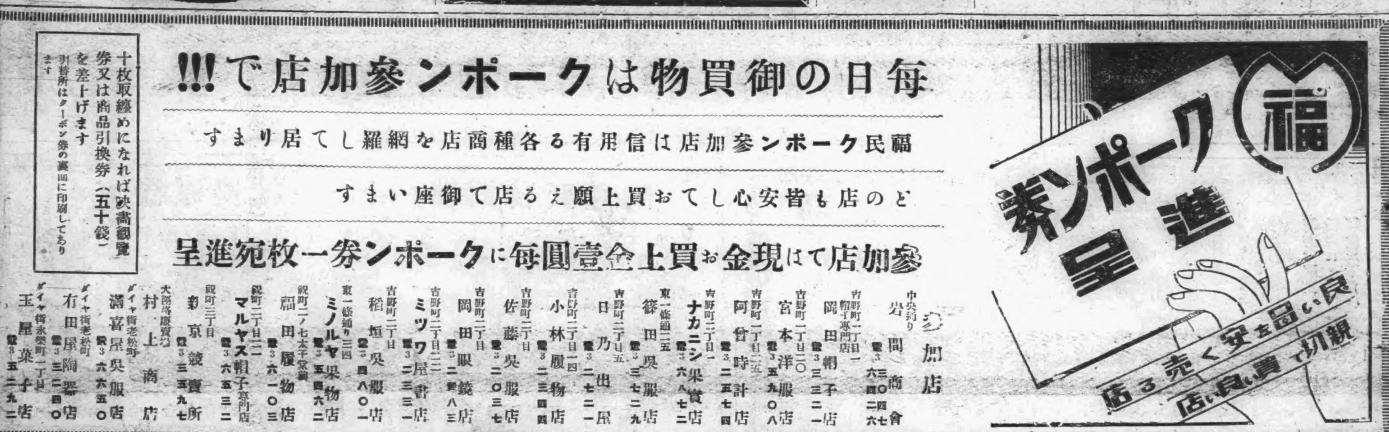
化畵映にトスヤキ

!!!で店加參ンポークは物買御の日毎

すまり居てし羅網を店商種各る有用信は店加参ンボーク民福

すまい座御で店るえ願上買おてし心安皆も店のど

呈進宛枚一券ンポークに毎圓壹金上買お金現はて店加參



るやうでは、所詮、たさへ一 りれざも、機能な乗月女士 のために疑惑の日を向けられ 男なに苦しくでも『女子教婦者なに苦しくでも『女生教婦者を摘むまでは、ぐんなに、どんでも『女子教婦者 も、この先、さても大し 多へる軽差流令(極まるので がようない。 多へれば を表した。

なくれる女軍事嫉俗さして謝かくれる女軍事嫉俗さして謝 である。 では、一般な事ないである。 れる女軍事探偵さして講 東内は、雅ご全部が空家でよった。 で来で云へば、この都市の も、結局の所は住民が役で選り



きってゐて、地下から出て來 さってゐて、地下から出て來 さってるで、地下から出て來

11-15 2-09 4-49 7-51

学田遥春の夫人勝子その人な 智民保護の重賞をになって孤智民保護の重賞をになって孤智民保護の重賞をになって孤智な景像を愛げた

がない、女子教師を書い、女子教師を書い、女子教師を書い、女子教師を書い、女子教師を示いてあながら、あまり深いないである。 地下道の中をがなけて、地上へ出る事が 本塚の手に漢す事に全力をそれ塚の手に漢す事に全力をそ なからくき頭の上に掩ひかぶ を対見のない裏ツ黒な闇空が を対して限けや

理 11.30 3.45 8.13

1.60 3.43 6.36 9.29

1030 5045 10.10

戰 前。 時 木山 1/4 銃, 說 樹型

五日より三日間 花嫁八十八夜 で嫁八十八夜

| | _ | | |
|-----|-----|---|------|
| | | | |
| - A | | | |
| 电 | | ~ | |
| 3 | - | | 30 |
| ¥ = | 78. | - | 8 |
| - | E | 3 | P(c) |
| ξ. | -45 | _ | 6 |
| ~ | O | A | ĸ. |
| | | | |
| - | | | - |

| $\gamma = 0$ | | | | | | - |
|--------------|--------|------|------|------|---------|---------------|
| 章王祗園會 | 12.0. | 2.39 | 5.25 | 8-17 | 按信幕 | 明伏高 |
| 後女は何を覺えたか | - | - | | | | 好儲 日 |
| = 1 - 7 | 2017 | 405 | 7+4 | | と伸ん | Men 7 -10 7 1 |
| 三日より九日迄 | 视 | 大人 | 十五 | 錘 | 女主分 | 門主切 |
| | Mark 3 | | | - | - 04 79 | |

原約子供作りより

猛暑にビクともせぬ

抵抗力をつく

\るから

化することこそ離方にも今すぐ必要なお手膏ばかりです、仁丹で都度疲勞を解消し、同時に榮養分で抵抗力を最猛暑から來る疲勢の畜積は、咸昌や駿冷えの原因となつて悪化する

朝田山田

若葉の夢線

特に能率をあげるから

合む仁丹で、明断と精氣を生む事が條件です。この征服には、まづ浄血、血行促進に即効する貴藥プラランを事が余にとつて不能率的な夏は又、処學家にとつて不記憶的な夏で

杉在紀、R春里子 経験 お岩役者 経験 お岩役者

| | 。一座里 | 草 | 5 | F |
|---|------|---|---|--------|
| 1 | 2一四 | | E | 71 170 |
| | 五 | 4 | ż | |
| | | - | | 2 |

戦線に映ゆ 1163 3691 7610

ス

Ξ

+ 1

宇宙の動亂

毒消し劑だから

| 長會稱虎微 | | 1025 | 4.25 | 7.30 |
|-----------|-------|------|------|------|
| 張波峰事件特報ニュ | | 2.30 | 5.5 | 8.35 |
| 街に出たお嬢さん | 19.00 | 3.00 | 6•05 | 9.1 |
| 日曜は一〇時二〇名 | | | | |

闇の影法師

B E

傳染病を

豫防するから

胃腸を丈夫にして置くことが第一です。それには仁丹で口腔を衛生しく、此際充分の豫防が是非肝要です、それには仁丹で口腔を衛生しこれから日毎に猖獗する悪疫や、傳染病の危險は中上げるまでもな

0

座

| | 40 | 1111 | 1111 | |
|-------------------|-----|------|-------|--------|
| テ養演ン明十日 イ研奏ク大夜 | 真正以 | 母母 | 0 | 魂 |
| が出会り入後に | 3/坚 | 早 | 川 タップ | メンス |
| ブン回り | 六二 | = | 1 - | 2 |
| F y | 沃木 | 妖 | 魔白洲 | 報 姬 |
| 7-7-5-/ | # V | \ | N/// | /. \\\ |

新京士太マ

| 4 | = | 1 - | ス | 200 | 0 6.4 | |
|----|------|--|-------|------|-------|-----|
| 22 | 妖魔 | 自当 | 報 姬 | 204 | 7.10 | |
| | 111: | \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\ | 7. | \$// | // | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| #6 | | | | | | 9.5 |
| 新金 | 傳平道 | 目おち | 11•30 | 2-13 | 4.56 | -49 |

元日より八日まで

戀も忘れて

映画御東内 樂馴場

金属

和の常舗

脚氣を充分豫防するから

の常用は脚氣珠防として誰方も手離せません。 季を控へて、再發の恐れある方は勿論のこと、さうでなくでも仁丹には、ピタミンBが濃縮され、これから脚氣症の擡頭し易い時

夏やせ、夏まけを 切防ぐ から

一の解毒剤です、 今水中 飲食後の仁丹こそ、この慘事を未然に防ぐ唯りの時季、中毒慘事は績々各地新聞紙上に報

にすることこそ、これ等の症狀を防ぐに最適の方法招き易い此頃、今から仁丹を常用して消化機能を嵩め、豢養を充分食慾の蔵退を楽して、夏やせ、夏まけ等と健康上最も危險な症狀を

口中と全身を

口臭を去り、

爽快にするから

共に、元氣を震らせますとかな口薫は忽ち全身を蘇らせ、どれがは、夏季特に不快な口の粘つき、 どんな酷暑でも H 熱、 暑でも一抹の精凉味と

社會式株丹仁下森·舖本





「上海七日愛國祖」 九江攻略 市海鐵路方面に逐時兵力をもつて 表る三日夕刻九江對岸小池口 に上陸、附近一郡を占領した が、敵はわが湖口、丸江攻略 が、敵はわが湖口、丸江攻略 が、敵はわが湖口、丸江攻略

今日の美口は全く兵脈の都市 と化した、フランス和界を除 けば何端にも絶えず軍職が充 がでは簡単な天幕を張つて始

現實主義の本領具體ル

換は必定

海次具體化するであらうと飄瀾されてゐる 海次具體化するであらうと飄瀾されてゐる 海次具體化するであらうと飄瀾されてゐる 海次具體化するであらうと飄瀾されてゐる

大連より門司入港の日瀬道絡かせた片掃護郷少粉は六日朝かせた片掃護郷少粉は六日朝かせた片掃護郷少粉は六日朝かせた片掃護郷少粉は六日朝

第介石のテロ行為が表面化さ がある、これも直ちに同響に がある、これも直ちに同響に になっている似た

兩少將凱旋

六、料亭十七號製技紅玉(二) を展開べたところ、何女 の裏面にリシュコフ大將の脱 別にも似た同女の夫、警つて の第介石直屬の航空緊第一大

を冒し南昌

【頁二十刊夕朝紙本】

調尼昌田醫院 國

東場で五日 が交換側に流り が交換側に流り が交換側に流り がでカン米で がでカン米で がでカン米で がでカン米で がでカン米で がでカン米で がである。 がである。 がのかれて がのれて がのかれて がのれて がっな がのれて がのれ

は同船で更に神戸に向つたが船扶桑丸で脚還した、同少將

に 田フランス、イ 日フランス、イ で使がカランス、イ ではは継続か、ジ 変に向っランス、イ のではは継続が、ジ のでは、ジ のでは、ジ のでは、ジ のでは、ジ

た の支那民家の修設たる版況 は支那兵自身でその邊一帶

本部は続インキ製造株式会社

/ 品一下天

第 て額券もびるに理工もるそ交條條一 こら概率べれ情とにの値か下などのお政へのよめ資く近 流の面の電少關辦係つ金の通第第條政へろし行せしに勢定鑑大にれげる等北や欄には下には地に 通園額と東額をはて額券銀一二 府通な殿爲ぎ、髪如めみ衆基とるを個方中とおか落層極にお す幣の除銀通を第少法が面付項項書の提出である。 東京の除銀通を第少法が面付項項書の提出である。 「新の除銀通を第少法が面付項項書の提出である。」

中佐、蔣の暴政逃れ リシュコフ 事件支那版 に入らうとしたが、これが気になり、一應社準新政が気になり、一應社準新政が気になり、一應社準新政が気になり、一應社準新政が気にされず七月下旬かが明一にされず七月下旬かが相手にされず七月下旬かが相手にされず七月下旬かかが相手にされず七月下旬かかが相手にされず七月下旬かられば玉を身質りしてある。

鐵ペンでも

ライトは

クサらせます 金ペンさへも 粗悪なインキは

錆させません!!!

滿洲國

保 長官は七日あじあで瞬京した 御影池長官婦京

電池四六四二

消費者

新立中中華胡同

り之を施行す 附 別

本 () 本語 () 本語 () 本語 () 表記 () 表

通貨政策强化

商品券の賣買も致します 電話③二六四四番

新京祝町三丁目 (南廣場與銀橫)

用一時上多分上後配達 朝日通り深町病院前電

トライクリーシグない時高雪

虫下し

日中 せる約州棟の軍需品倉庫も提出して、攻撃部隊の投下せて、放大におって地上が製造火も極めて緩大・で数して、攻撃部隊の投下せて、放大・大部分命中郷を設め、放大・大部分命中郷を設めておった。大部分命中郷を受ってその、流にある英権コックチェファにおいた。大部分命中郷を受ってその、流にある英権コックチェファに激賞感激の意を表別して引きた。大部分命中郷を受ってその、流にある英権コックチェファに激賞感激の意を表別して引きた。大部分命中郷を受ってその、流にある英権コックチェファに激賞感激の意を表別して引きた。大部分命中郷を受ってその、流にある英権コックチェファに激賞感激の意を表別して引きた。大部分命中郷を受ってその、流にある英権コックチェファに激賞感激の意を表別して引きた。大部分命中郷を受ってその、流にある英権コックチェファに激賞感激の意を表別して引きた。

より同號は北海廿五度。 廿五七日朝駐日大使館宛米國務省 七日朝駐日大使館宛米國務省

を設立しその要行にかよるを設立しその要行にかよる。 を設立しその要行にかよる。 を認めもつて唯一の関係と を認めもつて北支における。 が通日々に骨面で、その後中関 に野力もりこれが等價交換。 を認めもつて北支における。 を認めもつて北支における。 をである面質及び金融の安 をである面質及び金融の安 をである面質及び金融の安 をである面質及び金融の安 をである面質及び金融の安 をである面質と、まつて、 をである面質と、まり一定。 をである面質と、まり一定。 をである面質と、まり一定。 をである面質と、まり一定。 をである面質と、まり一定。 をである面質と、まり一定。 をである面質と、まり、まり、まり、また。 をできた。 では、また。 をできた。 をできた。 できた。 できたた。 できた。 できたた。 できた。 できた。 できた。 できたた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できたた。 できたたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。

て今日に至れり、この間智 によりその價値日々に下落 によりその價値日々に下落 を設分の苦に陷りその影響 北支に及ぶに至りしをもつ の發行にかふる南方祭の北 をはける洗頭を斷乎禁止 となける洗頭を斷乎禁止 をはける洗頭を断乎禁止 となける洗頭を断乎禁止 となける洗頭を下落

腕する離明書 政府七日午後六時 で左の如し

支援軍は日本軍の治験を を初りに破験してあるにも 方面に殺到しついあるにも でのでは未だ判断しない が土民の蒙つた損害は莫大 に上る よつて外務省では海軍、拠信との旨通漢協力を懇請した、この旨通漢協力を懇請した、 救助方日本側の側協力を請ふ漂流してゐる機様につき捜査 つて一個の切下げを敢行する北方券に對して政府命令をも別して政府命令をもってるたが、いよく 八日を

りが

がしたが目下同地帶を去る百附近航行中の船舶の出動を促 大阪商船濠洲航路カンペラ **絵運を紳戸に向って**

鼓峰その後の情勢

面は大なる暖化なし、前方に(一) 震波峰正面の敵はその(一) 震波峰正面の敵はその(東京護通) 陸軍省簽表

の支える(二)な事職耐機は龍峴

)及 せり ・ 機は張威峰および古城を爆撃 ・ 機は張威峰および古城を爆撃 ・ である。 ・ では、四倉駒岬附近對地射

一部記事揮入 人名 一 附夕刊一面、七日午前十一時 一時夕刊一面、七日午前十一時 一時本省慶長記事第四項中「わ が方は野殿車職崎に」以下左 記六十三字散濶に付押入、又 「他撃の前に」以下は の前に」以下は の前に」以下は の前に

を養白になって行く、 数分間 は一人として彫を渡するもの 電氣はぴつたり止るから傷息

が勝冗に歴武してゐる、

滿鐵正副總裁

・ 七母常は難更)は八日午前 松岡鴻嶽継越、大村団閣總裁

院室完備 **阿田田田** 医学博士





心口

なら

ツ緑

は誤算

だけ水ささくしかしてソ聯が現在といふことは明像における他家が様に今回の事件にしてソックでは最近終が経に今回の事件には不可解な概ががあるたら何故をするなかでするならの複響は衝突の影響は衝突の影響は衝突の影響は衝突の影響は衝突の影響に表した。 を表している。 を表してソックでは、 は不可解な概ががあるならの複響は衝突の影響は衝突があるならの複響の事件に は不可解な概ががらなくなった。 はなかっている。 はなかっている。 はないなかっている。 はないないなくなった。 はない、に表して、 に表して、 にまる、 になる、 になる、 になる、 になる。 になる。

進擊阻

北

0

線指揮官通はなめまりにも個人 を指揮官通はなめまりにも個人 を記してあげられたと考へられ を発力を開張していが、ととを取てしたかは分らなことを取出しまするよれたと考へられ を対したが、ととを取てしたかは分らなことを取出します。 を発力を開張していが、ととかない、また、 を発力を開張していが、ととかないでなれ を対したのが最初故意に の理出としておいるのが最初故意に を対したのがよって を対したのが最初故意に を対したのがは分らない、また、 を対したのがは分らない、また、 を対してもない。 を対したのがは分らない、また、 を対してもない。 を北方に を表する。 を対してもない。 を出たのが最初、 を出たのが最初、 を出たのがは分らない。 を北方に としてもない。 を北方に を受けなか。 を見てるると

日本は平和

して争に有るか設

れて来た同都

を掲げつぎ

海軍航空隊勇士の手

山中佐等の親しい海軍武官を もて海軍を単に在學中のぞを することになつたのでかねて 指導の任に當つてゐた同校教 がある。とになったのでかねて 指導の任に當つてゐた同校教 がある。とになったのでかねて がある。とになったのでかねて がある。とになったのでかねて がある。とになったのでかねて がある。とになったのでかねて がある。とになったのでかねて がある。とになったのでかねて がある。とになったのでかねて がある。というない。

部様山副官宛 と考へ六日本 と表へ六日本 と表へ六日本 と表へ六日本 と表へ六日本 と表へ六日本

海軍へは土耳古留學

献华

金

少佐は時局

型一合理化を 課との合流を を率天に移 の合流を

航空医活躍の一半はこの飛 を対したのは一・しかも を対すると百回の攻撃の中には悪がなるは勿論であるが、 を対するとは一度を表したらず、 を対する関連とのは一・しかも を対する関連とのは一・しかも を対する要地となるは勿論であるが、 を対する要地となっため引返したのは一に地上 とばあつた。 とばあっため引返したのは一に地上 とばあっため引返したのは一に地上 とばあっため引返したのは、 を対すべっとの出來な とがしばあっため引返したのは、 とがした。 とがした

工部局

0

道處置

河

に放

ラ

患者を

聴、民間關係薬者を必要とするので

六日午前十時より鎌道總局を 総室に於て西村緯道總局水運 の下に開催、大連埠頭におけ る證貨處理應急對策並に將來 の大連港擴充計費等につき慣 大連の幹事會に來る九日軍開

方面 意向 湯銭機構改正に

ふ漏鐵の質質

近衛子等歸途へにサンフランシスコ五日酸國流 ヨーロッパ各地にわたる旅行を終へてアメリカ経由歸城を巡回中であつた早大剣道地を巡回中であつた早大剣道地を巡回中であった早大剣道

油都ファン特望の新京次率第 (大穴に人類を呼んで午前十 一時二十五分の開場といふの に早くもスタンドは超滿員、 電目の興味は各優勝識馬に多 大の類待をかけられた通り本 金馬果してその力量を設揮す るか、新進巧みに打乗るか、 穴ファンにはまた此處等が狙 のどころであつた、果して待 秋季第一次競馬 八日目成績

第一單元(関五〇、等外元と 関九〇 一型二四関九〇、等外二と の米)1第二奉花(四分七 移四)2 岩駒、3 瑞陽、配 高一單二六酸四〇、複 1 人 四、2 二六八國八〇、3 一 四、2 二六八國八〇、3 一 四、2 二六八國八〇、3 一 三四関四〇、等外元七 四、3 一 外播泉 三个 〇〇 五〇五六當〇〇 製車造幌 七八五一回書 四0三街大春長京新









辨迕 引越荷作

備後表 機械床工場 新京尾上町 **豐商店** カノ八番州

町三丁 目 ラターケ + 八番 蝗 E

優 道 話經 下路 他器

各種限界、鐵工製作 製工製作請 数工製作請 を表がし 捻子 じ負機具具

V V トゲ 2

厚生省が保證

の上體力合格章浸典

意向

段取である、なほ幹 州池 W 新議委員會に

に力を得て二日からは朝五時から附近の春日神社の御橋除から附近の春日神社の御橋除むれての一帶を強っ歩いてゐたのでとも十七圓除の純利益を上げて夏休み中には樂に百週を儲けて陸海軍に献金するのだと

ると主ななは幹

大産金會社

の優良體位を

旧成院宮殿下 に 日本刀を贈らる にリオデジャネイロ五日酸園 通知 開院発課總長宮殿下から最近難任した駐日大使館武官中西大佐に托してブラジルのドウトラ陸和政びモンテリオを課總長へ御寄贈になった日本側がら右崎勝近以下將官中配子になった日本側がら右崎勝近以下將官中除名日本側がらなる課總長宮殿下からおってなくブラジル側を参談總長宮殿下がらずってなくブラジル側を参談總長宮殿下のでなくブラジル側の建である日本刀を参談總長宮殿下より戴いたことはわれわれ南人ばかりたことはわれわれ南人ばかりたことはわれわれ南人ばかりたことはわれわれ南人ばかりたことはわれる日本刀を参談總長宮殿下より戴いでもる日本刀を参談總長宮殿下より戴いでもの絶名

悪家主等るたら

これは東京の話ですなって市民の住居を護ること、なった、この相談所は各属の地代調査とか地域別に見て正しい家賃の算定を行つて暴利を貪る家主、地主に優告しどし値下げを行はしめるほか店子と家主の紛争などは無料でその調停の勇をとらうと 斯江、安徽兩省 四縣長任命 「上海六日凝園通」維新政府 行政院は浙江、安徽兩省政府 の民生、建設、教育の三廳長 か次の如く任命、六日附をも つて正式發令した 浙江省政府民生憲長 ・ 大田附をも が江省政府民生憲長 ・ 大田附をも

Ξ 龒 も長府府

月の

品

于

既に温展に

相談所

に來れ

但 しこ

同 吳生處長繳敦育廳長 伊 衛 治安成る 文

~

新成し需給の調整、價格の統 所で を突破、この分では代用品が登場 が、出場無數は早くも一千點 が、出場無數は早くも一千點 が、出場無數は早くも一千點 が、出場無數は早くも一千點 が、出場無數は早くも一千點 が、出場無數は早くも一千點 を突破、この分では代用品の 製造業者及 にお が、出場無數は早くも一千點 を突破、この分では代用品の といばれて ある、右代用品の製造業者及 にお なる配給を開ることになつた

軍

で を設けて疾劇金の交付、精錬 を設けて疾劇金の交付、精錬 を設けて疾劇金の交付、精錬 を設けて疾劇金の交付、精錬 民協議會成る

る東京府では六日から帝國軍選、銃後の強化に乗出してム

銭といふ快心の大穴となつて 新原騎手・四百六十七圓六十 副空しからず即ち第十二競馬

東京府、 遺家族

を演 大規模の清掃工作が最近の國 作に ひ難い、事件の成行きはロン より ドンに於ても一抹の危惧で念 いたと を伴つた好奇心をもつて見守 ある られてゐる

張鼓峰事件に關する

英佛紙の論

えいからだ、結局極東赤軍を続るいふ心理が有力に働いてめるとうに受取れる、後 も職場で死んだ方威ましだといいからつて熱殺されるより いふ心理が有力に働いてめる やうだ、結局極東赤軍を続る

交交渉成功か

菜の行商

報えた。 並びに褒

大が形の刻く**投**奥さる 株が形の刻く**投**奥さる

を論じてるる ・ タン紙は外務省方面で関際情 ・ も平和原決の見込みが强くな ・ つたと解してゐる旨報じまた ゲランゴワール・カンディド ナト週刊紙は何れも事件の起 株占様にあることを指摘し ・ は七月十一日ソ聯側の強波 株ら様にあることを指摘し ・ であることを指摘し ・ である。

五十銭、第七番馬に、第二春 変馬に美光(吉浦)五十銭第八 常第)四十五順 五十銭第八 東北(吉浦)四十五順

壽可 角道新座銀 道条二東 查ttf四 四三二(3)電

新京曙

家 具具 其什

時八後午―時九前午 診休後午日祭曜日 ず非にり限の此は惠急

全滿中等學校水上

戰

三者に物という。三者に新二本で、一番に対して、一番に対して、一番に対して、一番に対して、一番に対して、一番に対して、一番に対して、一番に対して、一番に対して、一番に対して、一番に対して、一番に対して、

着李(新商 大二中)三 大二中)三

の差で一震

學校水上競技選の第

ない につぎ國族指導、関屋會長頭 強奏陣を打ち破つて遊衆の野 強奏陣を打ち破つて遊衆の野 ある「寫真は白菊ブールの数

一分四十二秒二十二秒

・ 池が が が 入 が 入 方 月 月 月

一〇大青成

米り大ルにが、 差で五ま

地元強豪陣を退け

T

大連二中

に

剴

(日 曜 月)

本社を楽訪戲問演奏につき語

泉教諭語る

恐怖

検通知識を出しそ 検通知識を出しそ

光協會宛中が発音は十一日

ルにけ到所し低れ と堪喜る七十 となるとをいる。

市内皇姑屯朝鮮人部落に於け 市コレラ勝者報出に鑑み率天 市コレラ防疫委員會では踰起 となつて蔓延防止につとめて ある折橋市内南市場の満人密 要地域にコレラ疑似患者一名

断必死の防疫活動を行つて ある、なほ同人は六日未明 天津からを率したもので 感染経路は北支から來たもので を思ばれ本人は在京中に於て まくわ瓜、アイスクリしみを 参量に食べたといつてをり、 委員會ではこの方面を厚力取

一五日に賞品授組

1日間の製品はまたガラス

ロースに於

號に

者は南市場千祥里に居住

(三)

マ百米自由澄灌送 中)一分十五秒一、一音鳥田弘(大一 中)一分十五秒一、一音鳥田弘(大一 村大)三音豊田賞(鞍中) 一分十八秒二、四篇減監絡 一分十八秒二、四篇減監絡 一分十九秒二

自住七日午後一時より 会は七日午後一時より をで各選手共整始堂を をで各選手共整始堂を で手護選を がで各選手共整始堂を で手護工時過ぎ終了し の日無風絶好の水泳日 の日無風絶好の水泳日 の日無風絶好の水泳日

の日程を終り七日午後三時の 列車で志崎校長を始め學校闢 等の出迎へをらけ元氣に瞬着 係者、満鐵新京支社驅社係員 等の出迎へをらけ元氣に瞬着 を満たなしついで學校に到り を満たなしついで學校に到り を消化に見舞ひ成功裡に吹奏 を病化に見舞ひ成功裡に吹奏 を病化に見舞ひ成功裡に吹奏 を病化に見舞ひ成功裡に吹奏

一た師奏氏プはが挨りの

今度は満

部落

に

は全満的に奸評な は全満的に奸評な でるたが、各方面 で一日延期した

面の眺烈な希

光スタンプ

本社後援新京開

光協會主催で

好評に

ふ一日延期

觀光

京商吹

、奏樂團

り集談會を設けるべく協時士、長岡鰐院長が中心内院の山岸皮膚科醫長、

學校吹奏樂園奥地皇軍慰問際泉敦諭を閲長とせる新京商業

る所大歡迎、

使命完全に

達成

ら歸

3

強のから

方江、哈爾濱、斉々 哈爾濱、

哈爾、白城子、鷹家屯等各地 島軍將兵、慶家官、鴻鐵社島 の日程を終り七日午後三時の の日程を終り七日午後三時の の日程を終り七日午後三時の の日程を終り七日午後三時の

養同を得て

在京醫師 國都 ら第一

選 開催した、銃後國民の緊張を 大べきものがある、集談會々 規は空の通り

一、本會は新京在住の皮膚科 を計るを以て目的とすを計るを以て目的とする。国相互の研究競談と親睦

五、本會は事務所を暫得新市立醫院皮膚料沁尿器科電

三、本會は幹事一名を置き自一の、本會は月一回第一日曜日

世、ではが走参り等して下ではが、これからは姉の遺志を と共に「具今姉が亡ぐなりました、姉は生前選く銃後の務した、姉は生前強く銃後の務した。 と共に「具今姉が亡ぐなりましたので、私がこの姉の遺品 したので、私がこの姉の遺品 したので、私がこの姉の遺品 したので、私がこの姉の遺品 したので、私がこの姉の遺品 したので、私がこの姉の遺品 登したいと思つてる。 これからはは 遺品 を献 金冠一個、金冠一個、 科姉 ま務ま混風のに 野總務長官、小林開東軍司令大日本相撲協會新京本場所初

等を織り込んで等を織り込んで 等を織り込んで

立場挨拶をなし中川嶋戸雨絵

决後回

滿洲國官吏消費組合

個

〇 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)

ナ出吊を國兩・葉双

に結びの一番双

カ士の息語るの歌呼裡に 角道の醍醐 兩男節襲線太出北青総龍巴高瀬源西 安田 ノ 初州薬ケ平 武武氏 関川山石里 柳花山山藍山 潟登山山

TILLHE SALLERY MIHAE SALLERY

ALINKE PUTTE

通關運輸金融の決算報告は六 日午後八時から認念公會堂で 行はれるはずのところ都合に ところ都合に

駒井徳三氏次男 「前橋國通」六日午後五時頃 浦和市高砂町元浦州國金巖駒 沖徳三氏次児實著(一七)は 赤城山に登山。大洞湖にボートが漕ぎに出たが途中オール を落したのでこれを給はんと を落したのでこれを給はんと

総オベレ 住所氏名は朝瞭に記載し匿名も一應本姓名を記住所氏名は朝瞭に記載し返済せず、 と祭言編し投稿原稿は返済せず、 公署に編し投稿原稿は返済せず、 公子のでは、「原稿は明瞭に記載し封筒の表記には必ず 「原稿 原稿は明瞭に記載し封筒の表記には必ず 「原稿

發表了 大夢京、案天毎日各紙上及ヲ新京日8、吉舒斯昂、盛京時程・大康薨五年十月88句 - 東縣豐五年九月末日迄

闘ci で

魚料理

さぎ

青陽] 汇

電三六八〇五

となり死體搜査中である

イタの前に坐つた



員の腕章を築いたがさて困つ たぞくやくの事で射の骨でと がでとぬけてしまぶ、肘でと めるに一苦勢泣言か負けおし みかに日く「無骨者用ばつか り作らず少しはしなやかな人 ■ であるな に 然中 は 仕事が多く で 有名な 尾協 倉中 山 技 師役 と で 有名な 尾協 倉中 山 技 師役 と で 有名な 尾協 倉中 山 技 証 役 と で 有名な 尾協 倉中 山 技 証 役 と で 有名な 尾協 倉 中 山 技 証 役 と で 有名な 尾協 倉 中 山 技 証 や と で する な に 然 中 し 放 送





事常に威楽

0) 遺

暑熱ものか

を吊

出す

超満員の人氣

尔本場所初

都市對抗野球

統方の如し

院書 一本トーキー用章阿片麻薬圏禁」に関す

キー用募集!

3

5-7

兩國

大、中央通響では 禁粛して限名婦 ・手續や執つたが、 手續や執つたが、 ・手續や執つたが、

大会婦人として献納 日午前七時四十分逝 日午前七時四十分逝 日午前七時四十分逝

本、向井(與銀) 、江崎(與銀) 工藤、谷 工藤、谷

江崎(與銀) 谷間(電水) 我山(電郭)

明八日は定休日につき 業 致しま す



東京に經驗ある。年齢二十七才迄の女子職員(內地人に除る)を募集する昭和日無履經、持念來る八月九日生建一時當和台東衛王年八、6六日

謠

国

っ ったい夜更けに目をさまし 嬉しい想で泣いてます になったのかばかり

を放操も常磐松 ではんに変も武士の をはんに変も武士の

「後〇・〇一」

豊の御塾」 デ野 喜久 伏 天野 喜久 伏

雨の朝も風の夜も神の塵み潤 名残り惜しからん

そ今ぞわかれせむ。

無が採めて繰出して来たのだ。長

野取虫が一匹。そ

實質電話高價質入れます大豆先物、證券、電話

電路③五六六九番 震路③五六六九番 震路③五六六九番

七十個人。

妾の黒髪をあなたの

変も大和の女郎花なんでな

ED.

父さん母さん元気です坊やあたたにかはつて関のため

御熊事で降れとねがやせぬ

、関に命を捧げた作品的立

(佐藤恕夫 作曲)

船関

別れのその淋しさ。サンタステア

修羅の矢叫び今は背部るは管 落つる槽の火にも似たり

(妹尾 幸陽 譯 詞)

でゆこう、そよと吹く臥はうなも情けもやがてはかなく消を情けもやがてはかなく消

我が船ハペナを立つときひと

(4ラシェル曲)

思へば幾とせ雨に風にのふの塞にもやぞ暗し

60

ため中間になった。

裏の灯を塗っ

び致します。

あんま

はあるが、長

七郎の歌が時になった

あさき鳩なれを訪はば語れや

上共に來すや花咲

(中山青年曲) イきの(昭和)

駆ち小十郎も、ガター

虫がまた飛んで終たのかと見つがあつた。

に、長七郎の植へ張んで來たもの

のちの君よいつまで

それは、お似の真心が、天に適

「はてな?」と小首

はけさせる

から安部が原を

郷の和くかえ

そして何心なく秋の下へ事をや

この母を見よ

曜一月)

不の柩と變つても

の無言の凱旋を涙か

タ日ニューターニューリックロックのスでたかし (成田総三曲) (成田総三曲) では枯れて木立像し のみでたかし

えらい蘇風だ。竹様を小職にか

数を立てよ乗んで来る 長七郎の「恋」の上へ。

お妹子を録に、長 だとなって

で、蛇を掘る

新

(佐々木俊)作曲)

(兒仁非にらを作詞) (兒仁非にらを作詞) あなたのお職死知りまし

空に「関光」地に「あじる」

西洋民謠と

戦地で今頃はどん

日

妻の

手紙

B

5、何を泣かうぞ母さんも强い 立脈な電人に

(後八三〇) 指件

佐竹正充

がや育てにや日の本の女と

題と日本の 風が吹く

血潮流した

思が吹く

无族協和の 羽ひろげ 鳥よ歌ふよ 野に山に ないにいえむ 五色の花が

びる おが御検戒は、日も夜も仲

お馴染・笑丸さん唄ふ

葉え行く樂土 新

新滿洲

故郷あ、

の戸押しひらき何處を指すやの戸押しひらき何處を指すや風さへ寒き雪の夜に荒れし柴

掛すその骨

北端 密林梁く の手に 銃をとり から 立つか晴 から ない 埋れし土を

ドイツ艦隊行進曲提督行進曲

抱いて懸かした者の夢を思 ご、無い浸がほろほろ落らる さては心に通じたか ほんに出かしたそなたは勇

7:

大和通四六ノニ







タイピスト生徒を対グライピスト生徒 タイプライター 際 暗 時

白金·金·銀高價買入 橫濱屋質店 東二條通二十五番 東第3回七七四番

大月 五日 十六日、二十七日 午後五時雲 一四個 三二個 一二個 三二個

科、小兒科

電話3二三八七

電白二 大阪商船株式會社大阪商船株式會社大阪商船株式會社 。九州行近道

トラック に依る 大和運輸公司 大和運輸公司 慶享助成政策士木科一般

謄寫·代書 一

カメラ修理 乾寫眞機店 3

タイプ印書

二個引、通用期間三

代船一割引、通川期

三秦公司

お茶道具は新家音野町一丁目

時·長期秘密 全でお買入が出来ます







大都 室、権球場の上電話が 木





採 辨辯 理護 一

2五三二四



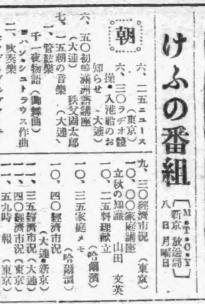


(及院 随意) **俩、痔疾科** 松本醫院









一〇、三五家庭メモ Ę Ó 一、〇〇經濟市 〇〇經濟市 110==-元東京•新京) 大池 大連·新京)

ブルグマーチ

社 大學教授 大學教授 紋事

東京無線

からさき鯉=学七緒物帖より= 大矢市支郎・外九、三九時報・ニュース・ニュース・ニュース・ニュース・ニュース・ニュース・告知事項・番組業告 (新京) 2000年 (新京) 2000年 (哈爾濱) 2000年 (哈爾濱) (書)上森•荒井(夜)

質、戦して連続したらそれとそ。一 つは飛ん

桃一はい明んでやりた 呼べるものなら 夢にも知られたのは、高ありか して仕様がないの

平野工務所へ できばか土地林料運搬 や地ムやげ電話大郎配達 中央道二十一 トラックの御用は





主光堂療院 市光堂療院 一八衢地

着っ六〇四一 特効藥安心散 古光堂療院 ・ 一十八番地 ・ 一十八番地 ・ 一十八番地

今辨慶整骨院 整骨院 はゆつざ









(5)

俊

七、〇〇ニュース 〈東近二二十二、李告宗華項・書部 大、一七千供 一大、一七千供 一大、一七千供 一大、一七千供 一大、一七千供 一大、一大大 一大、一七千供 一大、一大大 一大、一七千供 最年 - 相撲なき場合放急』 知識称譜座 (率天) その新聞

氏の時間(東京) 北南 ECI. 文那の を 変那の 活の 時

竹放送樂 光圖光

ルフェオー

男

助伊問志社學

(第二夜) 関本衛堂原作 (第二夜) 関本衛堂原作

○関民歌議 (東京)

京放送管絃樂圏

心事が耐えて無くなった。 「蜘蛛代も蜘蛛代だが、貯留の姿 (サナサ) (地位)

冗談ちやねえ、動きちや 近部プル (膜ひ出

『サアえらい事になって来た。 及を研ぐ古建の三右南 だ。表面に柔和を装つ

に思り返したがら、長

六 紫 雲 社

